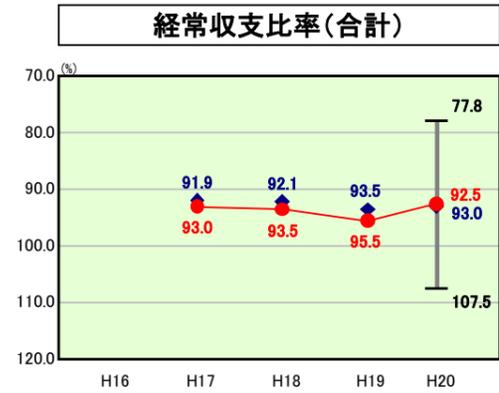


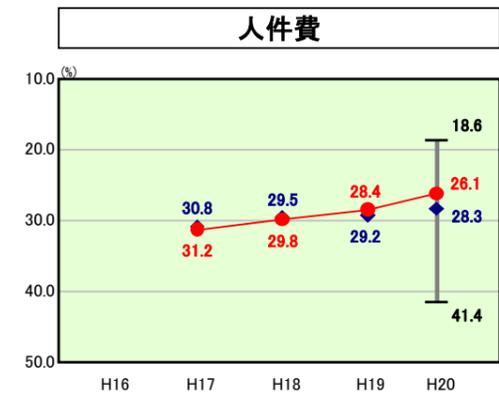
# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析

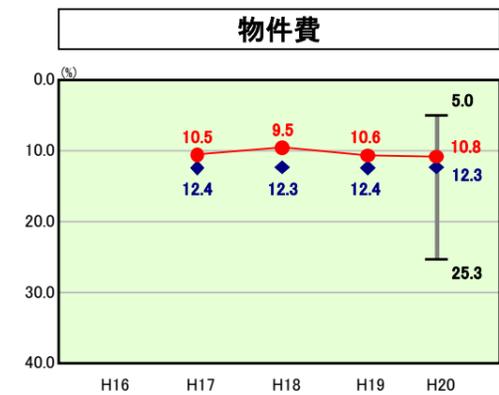


● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
└ 類似団体内の  
最大値及び最小値

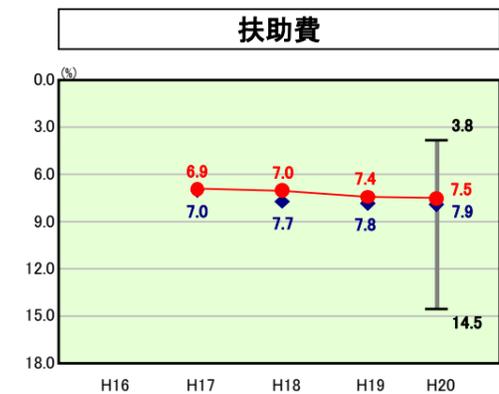
H20類似団体内順位 48/129  
全国市町村平均 91.8  
岩手県市町村平均 89.8



H20類似団体内順位 41/129  
全国市町村平均 27.2  
岩手県市町村平均 25.7

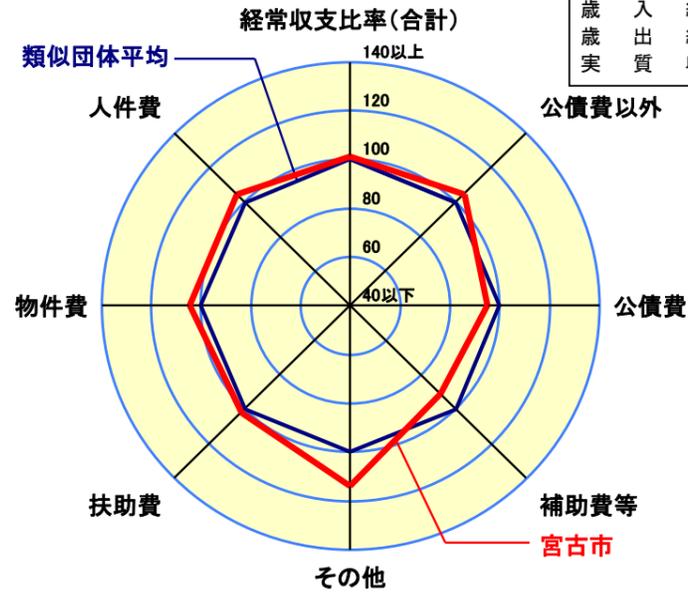


H20類似団体内順位 41/129  
全国市町村平均 13.1  
岩手県市町村平均 11.6



H20類似団体内順位 52/129  
全国市町村平均 9.1  
岩手県市町村平均 6.7

人口	57,912人(H21.3.31現在)
面積	696.82km <sup>2</sup>
標準財政規模	15,680,857千円
歳入総額	25,586,974千円
歳出総額	25,045,466千円
実質収支	515,771千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**人件費:**  
類似団体平均に比べ低いのは、ラスパイレス指数が類似団体平均を大きく下回っていることと、職員数が新市発足に伴い算定した定員適正化計画を上回る割合で削減されていることが主な要因である。今後も新市建設計画で掲げた合併15年経過後の職員数518人の達成に向け、より一層人件費の削減に努める。

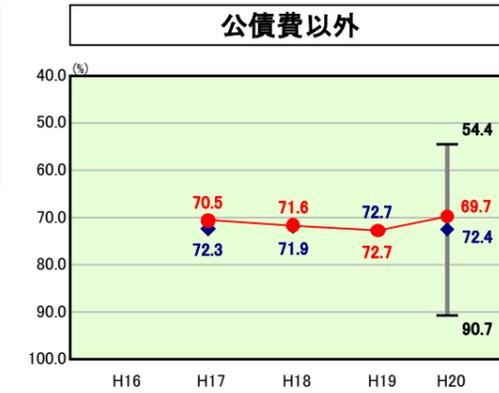
**物件費:**  
類似団体平均に比べ若干低くなっており、特に委託料の比率が低い。今後は行財政改革の観点から指定管理者制度を含めた事業の委託をさらに進めることから、当該比率の上昇が見込まれる。

**扶助費:**  
類似団体平均に比べ若干低いものの、比率は上昇傾向にある。増加の主な要因は、生活保護費、障害者自立支援給付費等の増加があげられる。今後も各事業で厳正な運用を行い、財政運営上過大な負担とならないよう努める。

**公債費:**  
類似団体平均を上回っている。これは合併特例事業債、臨時財政対策債の償還額の増加が主な要因である。今後も合併関連事業の償還額が増加する見込みであり、事業を厳選して起債発行の抑制を図り、財政運営に支障のないよう努める。

**補助費等:**  
類似団体平均を上回っている。当該比率が上昇した主な要因は、後期高齢者医療広域連合への負担金、下水道事業への繰出金(法適用による)の増加によるものである。今後は、負担金・補助金等の見直しを実施し、普通会計の負担が過大とならないよう努める。

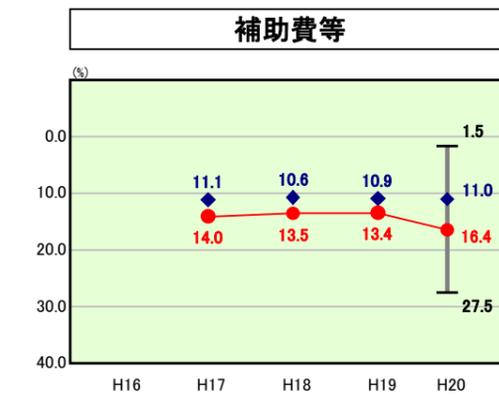
**その他:**  
類似団体平均に比べ低くなっている。維持補修費は前年度より若干増加しているものの、ほぼ例年並みであり、今後も同水準で推移するものと見込まれる。繰出金は下水道事業への繰出金(法適用による)の減少によるものであるが、今後も引き続き繰出金全般の縮減に努める。



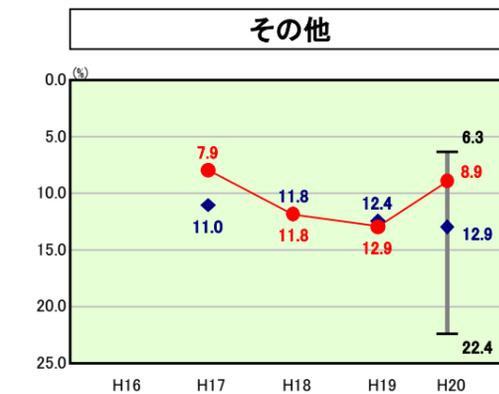
H20類似団体内順位 32/129  
全国市町村平均 71.7  
岩手県市町村平均 66.5



H20類似団体内順位 96/129  
全国市町村平均 20.1  
岩手県市町村平均 23.3



H20類似団体内順位 104/129  
全国市町村平均 10.6  
岩手県市町村平均 12.0



H20類似団体内順位 12/129  
全国市町村平均 11.7  
岩手県市町村平均 10.5